

Automatic Antenna Selector

【 iCOM 用 】

取扱説明書



Automatic Antenna Selector (for iCOM)

発行日 2026/03/23

発行元 moai工房

Ver. 最初

1. 主な機能

- ・4chアンテナ切替器
- ・RIGと本機をCI-Vで繋ぐことで、RIG側のバンドに応じて予め設定したアンテナchに自動的に切替る。
- ・IC-705のBluetooth(CI-V)に対応
- ・IC-705のBluetooth(CI-V)を有線CI-Vに変換機能
- ・バンド検出は1200MHzまで対応

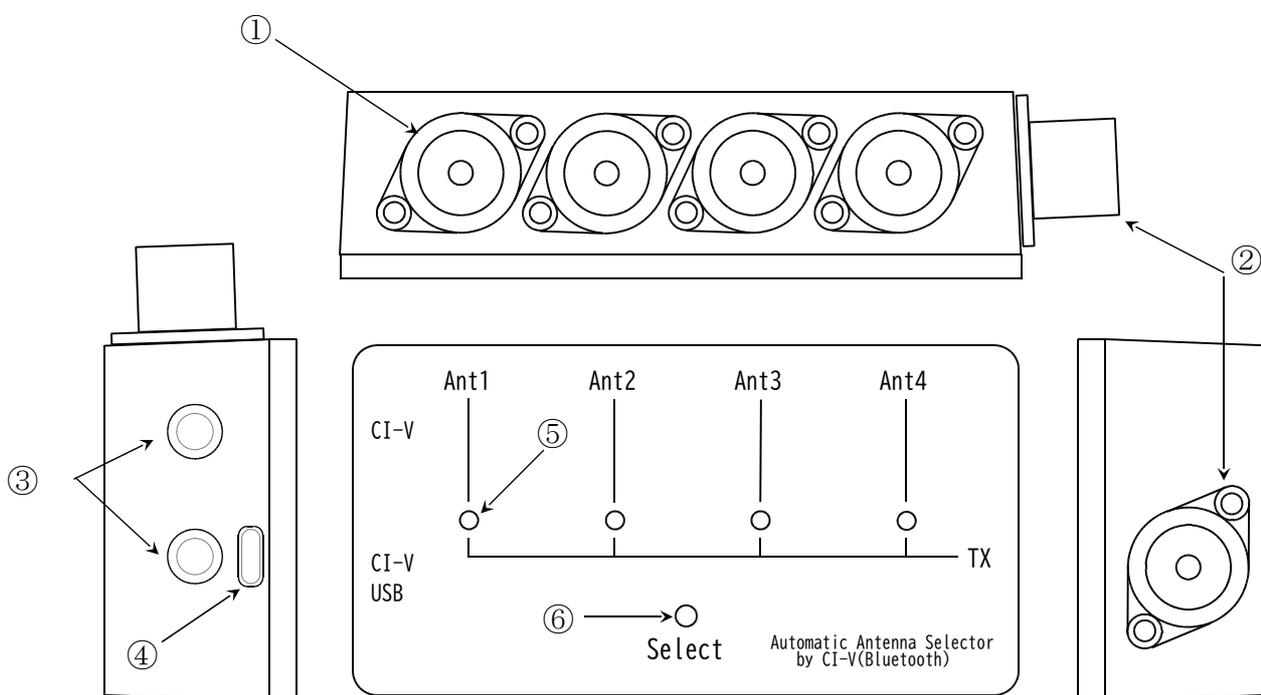
(注)

- ・アンテナ切替器としてはHF～50MHzまで
144MHzでは少しノイズが乗る場合があります。
- ・電源ラインからノイズが混入する場合があります。
その場合、ノイズの小さい電源に交換するか、電源ラインにノイズフィルタを挿入して下さい。
FT-114#43に5～6回巻く程度を推奨
- ・430MHzにノイズが入ります。

2. 仕様

ch数	4ch
I/F	CI-V、bluetooth対応(IC-705)
ポート	9600bps
通過SWR	1.3以下 ~50MHz (実測 1.1以下) 1.5以下 144MHz (実測 1.3以下)
耐電力	200W (500Wでも動作確認済)
電源	5V USB(Type-C)
消費電流	200mA以下

3. 各部の名称と機能



① M型コネクタ、各アンテナに接続します。

② M型コネクタ、RIGのアンテナ端子に接続します。

③ CI-Vコネクタ、ミニジャック（ $\phi 3.5\text{mm}$ ）
2つの端子は同じ機能です。

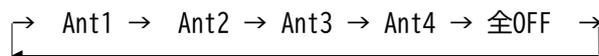
④ 電源コネクタ（USB Type-C） 5V
（プログラムの書き込み、デバッグモニタとしても使用）

・電源接続時、LEDとリレーがAnt1～Ant4まで順次ONします。初期動作チェック

⑤ LED 選択されているアンテナ端子が点灯します。

⑥ アンテナセレクトスイッチ

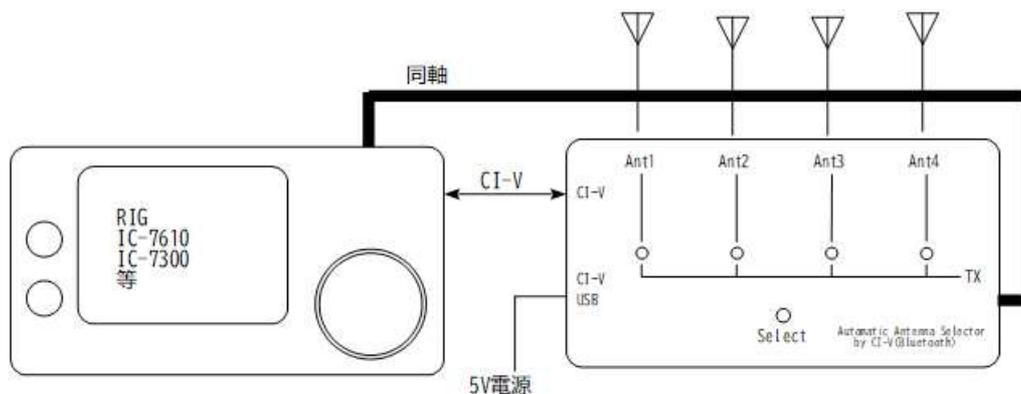
・スイッチを押すごとに次の順序でアンテナを選択します。



・長押しで現在のアンテナ選択状態をメモリします、電源を落としても記憶しています。
メモリが完了するとLEDが約0.5秒間全点灯します。

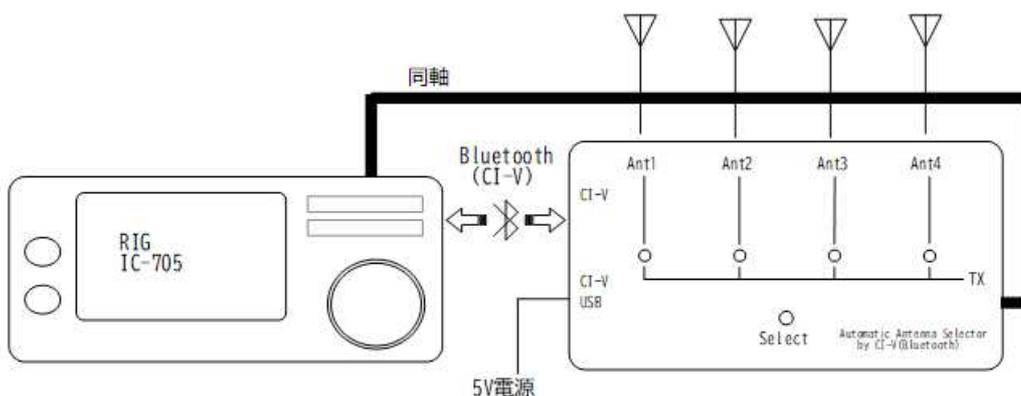
4. 使用例

4-1. 有線CI-Vで繋ぐ



- ・接続するだけで動作します。
- ・希望のバンドにRIGを設定した後、セレクトスイッチで所定のアンテナに繋がります。
- ・別のバンドにRIGを設定し、同様にアンテナを選択します。
- ・必要に応じ、セレクトスイッチを長押しし記憶します。
- ・電源投入の最初は、アンテナ選択ができていない場合があります。
投入直後はCI-Vラインからバンド情報が送信されないためです、メインダイヤルを回すとか一旦バンドを切り替える等の操作をすれば正しくアンテナを切り替えてくれます。

4-2. IC-705とBluetooth CI-Vで繋ぐ



- ・IC-705とアンテナセレクトをBluetoothでCI-V接続します。
- ・接続手順
 - ①IC-705とアンテナセレクトの電源をONにする。
 - ②IC-705の画面左下の「MENU」を押す、以下画面に従って
SET → Bluetooth設定 → Bluetoothユニットの初期化
→ Bluetoothユニットの初期化をしますか? → はい
ここでRIGが再起動します。

③再度、MENUから

SET → Bluetooth設定 → ペアリング/接続 → 機器検索 → データ端末検索
ここで検索が始まり、結果が表示されます。

「AntSel&IC705Civ」と表示されていればアンテナセクタを検出できています。

④次にこの「AntSel&IC705Civ」を選択

接続しますか? → はい

AntSel&IC705Civ

に次のパスキーが表示されていることを確認してください。

パスキー：*****

と表示されたらそのまま「確認」を押します。

⑤再度、「AntSel&IC705Civ」を選択 → 接続しますか? → はい

これで接続完了 画面に（接続中）と表示されているはずです。

なお、②～④の操作は初期に一度実施すれば、次からは

MENU → SET → Bluetooth設定 → ペアリング/接続 → AntSel&IC705Civ

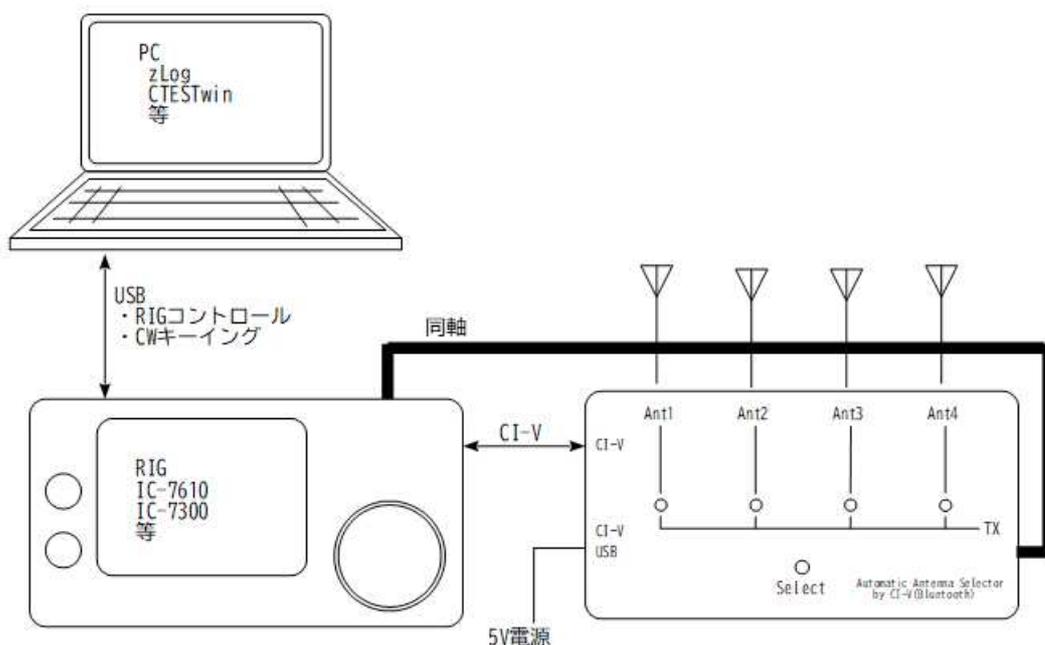
→ 接続しますか? → はい

と進みます。

Bluetooth接続後の操作は、4-1項と同じです。

- ・有線CI-VとIC-705(Bluetooth)両方繋ぐと、どちらのRIGからでもアンテナセレクトできます。
このとき2台のRIGは同期します。
こんな使い方する人はいないと思いますが。

4-3. コンテストで使ってみる。

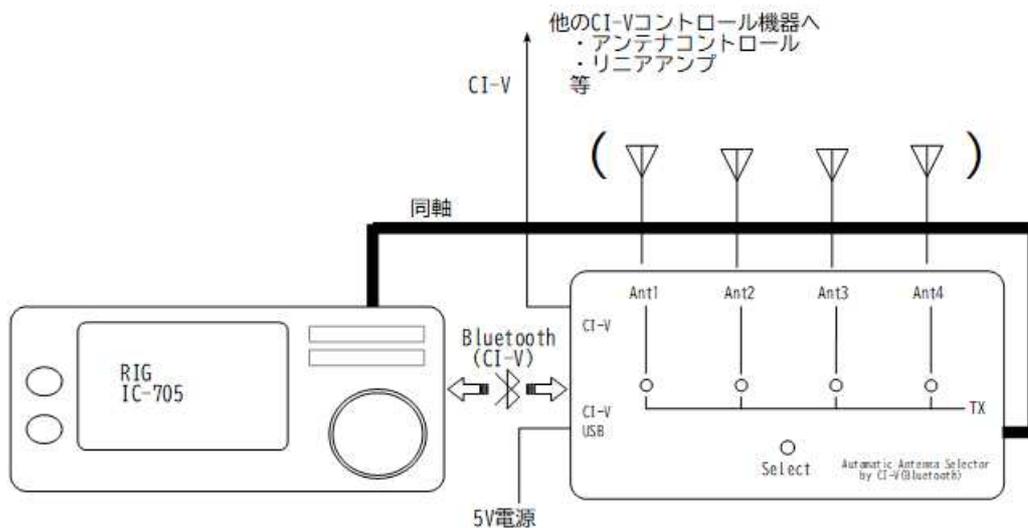


- ・ RIGとアンテナセレクトは、4.1と同様
- ・ PCとRIGはUSB (2ch)でRIGコントロールとCWキーイングをします。
- ・ コンテストログソフトは、zLog, CTESTwinその他何でもOK
- ・ PC側/RIG側でバンドチェンジを行うとアンテナも自動で切り替えてくれます。

マルチバンド部門でコンテストに参加する場合、バンドチェンジ毎にアンテナを切り替えるのは面倒だし、切替ミス/忘れをしょっちゅうやらかします。これの防止になります。ログソフトの機能でアンテナ切替をすでにやってる場合は用なしです。

RIGにIC-705を使用する場合は、4-2項のとおり接続すればOKです。

4-4. Bluetooth CI-V ⇔ 有線CI-V 変換インターフェースとして



- ・ 4-2項の接続状態で、CI-V端子と他の機器をCI-Vで繋いでコントロールすることができます。このとき、Bluetooth CI-Vと有線CI-Vは半二重通信（双方向通信）です。